



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.566 2月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和5年1月31日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

笑顔とこころがつながった「かがやき祭」

副校長 奥山 雅彦

本年度の活動を振り返ると、5月の運動会は全学年集合の形態で実施し、子ども達は自信に満ち溢れた表情とキレッキレの動きで保護者の皆様に元気な姿を披露してくれました。そして、3密を避けながら、活動のルールや約束を守って楽しんだ遠足や校外学習。3年ぶりの宿泊体験学習と日光修学旅行。子ども達は、いろいろな制限の中でも下を向かず自分らしさを発揮しながら、毎日元気に学校生活を送ってきました。

1年間の学びと成長の姿を保護者の皆様に見ていただける大事な発表の場である「かがやき祭」。コロナ禍で実施する「かがやき祭」でしたが、制限も少し緩められたこともあり保護者の皆様の多くに参観していただけて、子どもと同じく大変幸せな時間をもつことができました。各学年・学級で決めたテーマに向かい、一生懸命に調べて、作って、発表練習を繰り返して当日に向けての準備をしてきました。ただ気にかかっていたのが新型コロナ第8波とインフルエンザのダブル流行でした。しかし、永田台小の子ども達はそれらに負けず、一致団結しながら頑張ってきました。かがやきウィークは欠席者も少なかったのも、頑張ろうとする気持ちが伝わってきました。

今回の「かがやき祭」に向けての子ども達の様子と「かがやき祭くこどもデイ」を終えた後の様子から感じたことは、子ども達がお互いを大事にしているということです。お互いの発表を見合った後の感想を伝える「ハッピーレター」にはやさしいメッセージと、頑張った点や良さを称え合う様子が見られました。下学年は上学年の素晴らしさを素直に認めながら憧れを抱いていて、上学年は下学年を尊重し、優しい目と心でその姿を受け止めている様子に、永田台小学校の子ども達の優しさとおたたかさを見ることができました。本当に素敵だなと思いました。

大寒は過ぎましたが、まだまだ厳しい寒さは続きそうです。「行ってしまった1月」。本年度も、あと2か月となりました。明るく元気な子ども達が安心・安全に学校生活を送れるよう、教職員一丸となって支えていきます。新型コロナウイルス感染症前の生活に戻れる日を楽しみにしながら、笑顔絶やさずに子ども達と歩んでまいります。

どうぞ、よろしくお願いたします。

